

シーズシー株式会社



エコアクション21[®]
認証番号0013552

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年7月～2025年6月)

**クリーン化を
目指す企業のパートナー**

異物対策は、どのようにすればよいのでしょうか。
市販されている装置や製品は、私たちの問題に効果的なのでしょうか。
異物対策問題を考え、クリーン技術を推進する。
そのための装置、ツール、備品を開発し販売している会社。
それが、シーズシー株式会社です。

CSC-BIZ.COM

The advertisement features a background of soft-focus green leaves. The text is in blue and black, with the main headline in large, bold blue characters. The CSC-BIZ.COM logo is at the bottom, consisting of a blue diamond shape and the text 'CSC-BIZ.COM' in blue.

発行日：2025年10月23日
改定日：2026年1月19日

I. 環境経営方針

<環境経営理念>

シーズシー株式会社は、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題と考えており、本業であるクリーンルームの販売を通じてどうすれば二酸化炭素の排出低減になるかを考え、塵不良による廃棄品の低減など、シーズシーにしかできない観点で地球温暖化問題に取り組みます。

神戸市もここ50年で年間平均気温が2℃以上上昇しており、個人の欲を捨て地球環境の為に尽くせる人材育成をシーズシーとして取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境経営の継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 下記の環境に配慮した顧客のための種々の活動に取り組みます。
 - 3-1. 弊社の省エネプランにより顧客の二酸化炭素排出量の削減に貢献します。そのためにもイニシャルコスト優先の提案をせずに省エネを推進したランニングコスト低減提案を薦めます。
 - 3-2. 塵付着による外観不良削減を顧客と一緒に取り組む事で廃棄ロスをなくす事に努めます。
 - 3-3. 省エネ製品の商品拡販を通して、顧客の環境負荷低減に貢献します。
 - 3-4. 事務所内の緑化を実施し来訪者が共感できる事務所造りを目指します。
4. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
5. 梱包材のリサイクル及び過剰梱包の見直しを行い、廃棄物を削減します。
6. 節水に努めます。

制定日：2021年6月10日

代表取締役



II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 シーズシー株式会社
 代表取締役 難波 重典
- (2) 所在地
 本社 〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通1-1-14 4F
 本社備品倉庫 〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通1-1-14 904
- (3) 環境管理責任者の氏名と連絡先
 責任者 総務経理グループ 浦辻飛鳥
 TEL : 078-252-7201
 FAX : 078-252-7210
 E-mail : uratsuji@csc-biz.com
- (4) 事業内容
 クリーンルームに関する機器・備品の販売
 クリーンルームの評価及びサービスの情報提供
- 主要製品
 エアシャワー、クリーンブース、クリーンルームライト、ミストストリーム、
 クリーンウエア

- (5) 事業の規模
 製品出荷額 8.6億円 (2024年6月決算)

	本社 事務所	本社 商品倉庫	本社 ラボ	本社 備品倉庫	合計
従業員 (人)	13	無人	無人	無人	13
延べ床面積 (㎡)	119.5	32.47	82.33	31.9	234.3

※本社 備品倉庫 (段階的認証の対象)

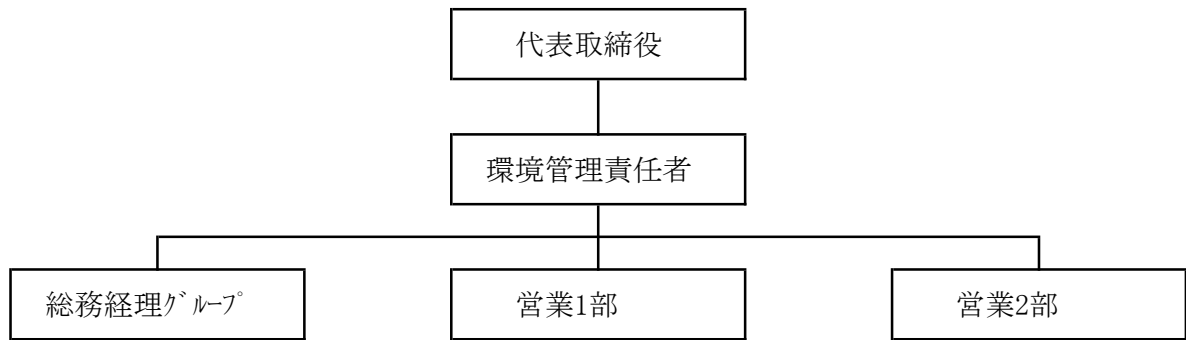
- ・保管内容 :
 工事で使用する工具や作業着
 サンプル品
 事務所併設倉庫に入りきらない在庫品
 実験用関連備品
- ・環境負荷 :
 電気使用量は事務所と別請求で把握
 ガス・水道は停止済み

- (6) 事業年度 7月～翌年6月

- (7) 認証・登録の範囲

登録事業者名 : シーズシー株式会社
 対象事業所 : 本社
 対象外 : 本社 備品倉庫 (2025年12月に対象範囲に含める予定)
 活動 : クリーンルームに関する機器・備品の販売、
 クリーンルームの評価及びサービスの情報提供

環境経営実施体制



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 効果的で必要十分な実施体制の構築 環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表の作成・確認、遵守評価の実施 環境経営目標・環境経営計画書の作成・確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の実績集計 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営レポートの作成・確認、公開 (事務所への備付けと地域事務局への送付) 環境教育訓練計画の作成と実施の管理
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 基準年度	2024年度 実績
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	12780	12,680	12,753
電力	kWh	14699	14,240	15,314
ガソリン	L	3393	2,894	2,731
一般廃棄物排出量	kg	880	995	1,180
水使用量	m ³	不明	不明	不明

注1) 灯油使用量は微量であるため省略している。

注2) 化学物質は使用していない。

注3) 水道水使用量は、ビルの一室を賃貸しており共有部分の為不明。

Ⅳ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

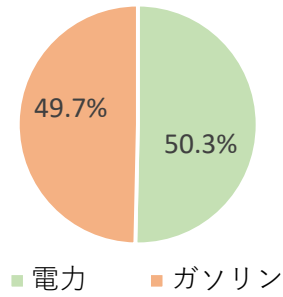
年度 項目		2023年度 基準年度	2024年度			2025年度	2026年度
			目標	実績	達成率		
Ⅰ 環境に適した製品の販売							
気流制御で換気回数低減可能なCSバルーン販売	万円 対基準	3,911	2,300 (-41%)	2,580	112% ○	2,500 (+8%)	2,800 (+11%)
ヒーターレス加湿装置の販売	台 対基準	9	10 (+11%)	4	40% ×	12 (33%)	14 (+55%)
換気回数を低減するクリーン機器の販売	台 対基準	27	27 (±0%)	10	37% ×	30 (+11%)	34 (+26%)
Ⅱ. 二酸化炭素							
二酸化炭素	kg-CO ₂ 対基準	12,680	12,554 (△1%)	12,753	98% ×	12,427 (△2%)	12,300 (△3%)
電力使用量削減	kWh	14,240	14,098 kWh (△1%)	15,314	92% ×	13,955 kWh (△2%)	13,813 kWh (△3%)
ガソリン使用量削減	L 対基準	2,894	2,865 (△1%)	2,730	105% ○	2,836 (△2%)	2,807 (△3%)
Ⅲ. 廃棄物排出量							
一般廃棄物削減	kg 対基準	995.0	985 (△1%)	1,179.7	83% ×	975 (△2%)	965 (△3%)
過剰梱包エアキャップ購入数削減	巻 対基準	15	14 (△1%)	12	117% ○	13.8 (△2%)	13.7 (△3%)
Ⅳ. 水使用量							
水使用量	m ³	-	節水の推進	○	○	節水の推進	

注1) 都市ガスは、微量のため二酸化炭素排出量に含めない。

注2) 電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2023年度関西電力実績値の0.419kg-CO₂/kWhを使用。

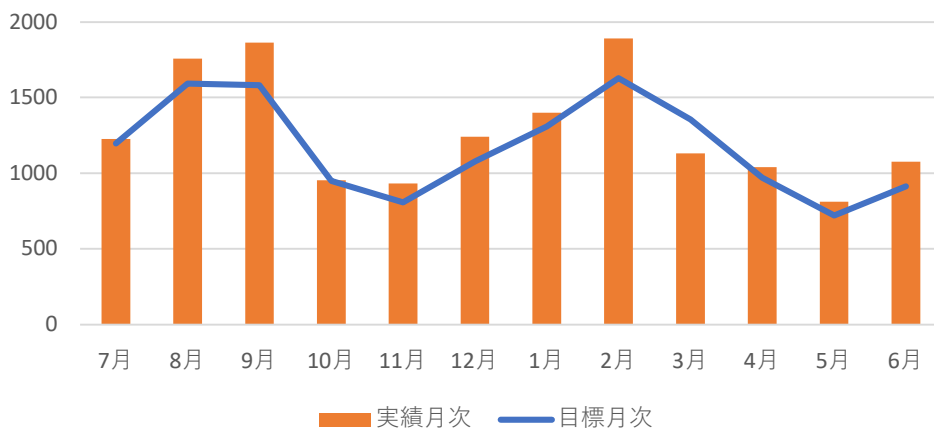
注3) 一つ目の目標が-41%は、基準年度のイレギュラー要因を除いた形での想定の為。

二酸化炭素排出量の内訳
(2024年度)



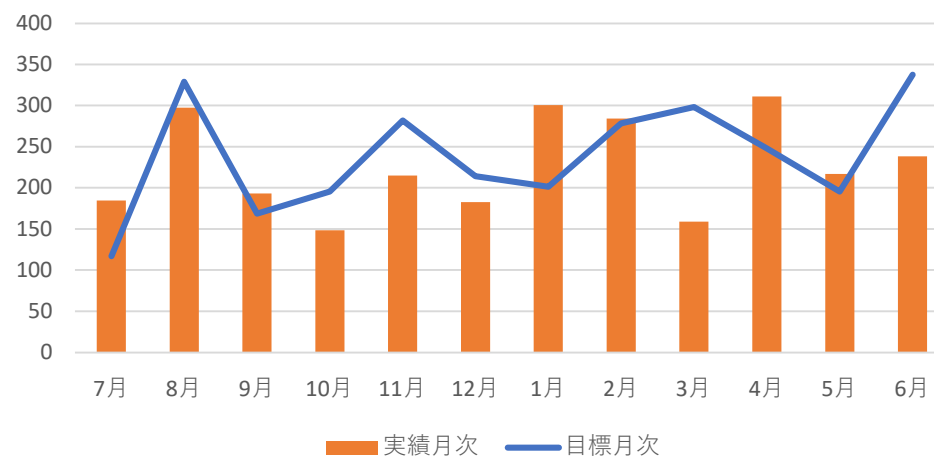
前年に比べて電気使用量が減少、ガソリン使用量が増加した。

電気使用量 (kWh)



全員に足元ヒーターを渡し、通路にも冷暖房が行き渡るようドアを開放した結果、夏場・冬場の目標が未達となった。

ガソリン使用量 (L)



得意先ごとに多少のばらつきはあるが、前年度に比べ売上が増加したにもかかわらずガソリン使用量は年度目標を下回り、目標を達成した。

V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
環境に適した製品の販売		目標未達成
①気流拡散CSバルーンの販売		
・CSバルーン付クリーンルーム、ブースの販売拡大	◎	CSバルーンの効果が広がったことにより問い合わせ増と推測
・クリーン機器とその他既設空調機などへの取付提案	◎	整流を目的とする顧客へ提案し、採用実績あり。
・不織布の定期交換の案内	×	新規案件に注力し、今回はできなかった。
・バルーンを使用したエアシャワーの拡販	○	新規顧客への案内・採用実績あり。 既存顧客での変更が価格面でネックに。
②ヒーターレス加湿装置の販売		
・既存顧客で加湿要求のある業種に個別に提案	×	CRで加湿要求を求められる案件が無かった。
・クリーンルーム引き合い時提案	×	同上
・納入実績と同業種の顧客への提案	×	新規案件に注力し、今回はできなかった。
・セミナー開催時に案内	×	今年開催分ではCR総論のため案内できなかった。
③換気回数を低減するクリーン機器の販売		
・自社ボールドームで展示会を実施	×	大型案件続きで余裕が無かったため実施できなかった。
・自社ボールドームセミナーでの案内	◎	6月のセミナーで気流制御の重要性を説明。
・換気回数を低減するクリーン機器を使用したクリーンルームの受注件数を年間8件以上とする	◎	クリーンルームには基本的に組み込む形で案内できた。
・引き合い状況によりHPの見直し	×	今期は見直しは不要と判断。
大型案件や新規取引に重点を置いたため目標未達成。次年度も左記取組を継続する。		
二酸化炭素排出量の削減		(目標未達成)
・下記の通り。		
電力使用量の削減		(目標未達成)
・使用していないエリアを共有部含めて消灯する	○	洗面所をセンサー式の照明に変更した
・ブライトを閉め輻射熱を避け空調を効率化	○	明るさや気温など人により対応が違った
・CO2削減に関する情報発信	○	空調ファン付ウェア等、一部行った
冷暖房対策を優先した結果、季節目標は未達。次年度も左記取組を継続する。		
ガソリン使用量の削減		(目標達成)
・急加速の抑制	○	メーターを意識するなど意識してできた
・効率的な移動	○	まとめて訪問スケジュールを組むなど調整した
・冷暖房抑制	○	可能なときは服装などで調整した
・車買い替えはエコカー	◎	買替前と同じアクア新型に決定した
次年度も左記取組を継続する。		
一般廃棄物の削減		(目標未達成)
・請求書の電子交付化	○	対象の得意様へは電子請求書を積極的に使用した
・印刷数の削減	○	必要最低限の印刷、役所申請も電子化した
・梱包材、裏紙の再利用の継続	◎	使用不可書類を除き裏紙は積極利用できた
次年度も左記取組を継続する。		
過剰梱包資材エアークャップの削減		(目標達成)
・過剰梱包しない意識付け	◎	ガムテープの使用方法などメールや梱包時に声掛けを行った
・精密機械のみエアキャップ使用	◎	エアキャップの使用は必要最低限に抑えてられた。
・その他、保護材はポーガスパー使用	◎	再利用など積極的に使用量を抑えた。
次年度も左記取組を継続する。		

水使用量の削減		(目標達成)
・水道垂れ流し禁止	◎	意識してできた
・蛇口水量を少し減らす	◎	意識してできた
・節水意識の維持	◎	習慣化できている
次年度も左記取組を継続する。		

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	委託基準：一廃収集業者の許可の確認	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	消火設備の定期点検（防火対象物）	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規への違反はありません。
 なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

人災か天災か区別がつかない災害が増えている昨今、
 明日のわが身にならぬように周りに流されることなく自分の信念や考えを貫いて
 今できる事に取り組めるかが問われています。
 未来ある地球の為に微力でも全力で推し進めましょう。

項目	変更要否	変更内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-

2025年10月22日
 代表取締役 難波 重典

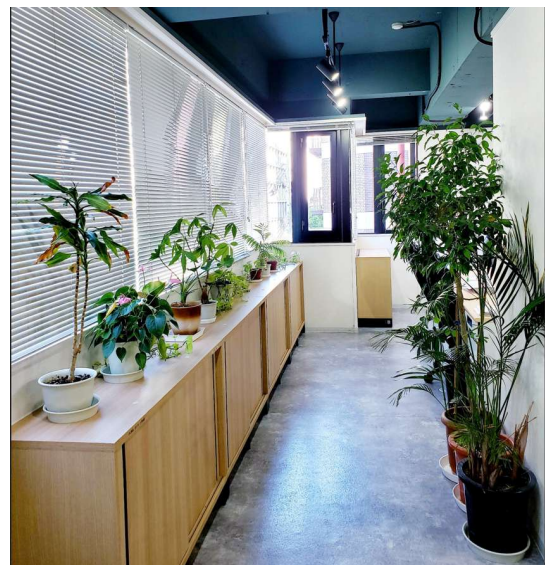
VIII. 環境活動の紹介例



<樹脂布製拡散板『CSバルーン』 製品画像>



<ヒーターレス加湿装置『クリーン eco ヒュー』 製品画像>



<事務所の緑化>